

新歓ラッソ

栗原和明

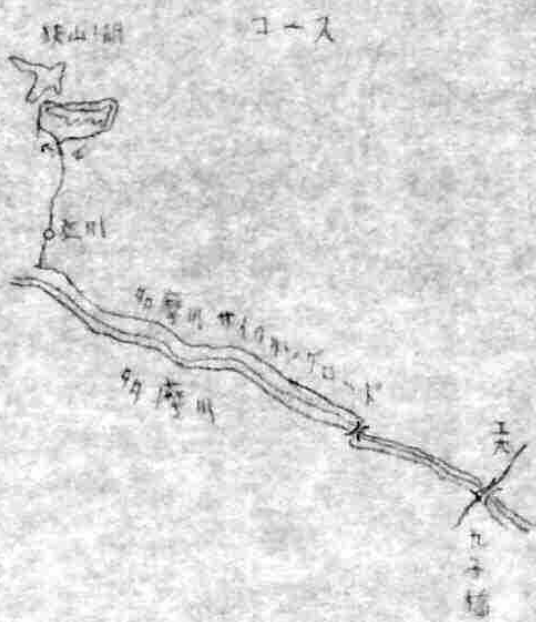
期日 6月1日

参加者 3年 堀 藤原

2年 野崎・横口

1年 全谷 栗原 沢木

鈴木 宮田 名取



走行距離 90km 天気 晴→一時雨→曇

時間 10時間

オノクリンゲ部に入ってから一月も、おれら一年生にあって、初めてのクラブラッソ。ホクにと、ては初めてのオノクリンゲでもある。

朝9時、期待と不安な心で、湖山湖を見下してスタートした。ホクの車はも年前に購入したBSロリちを改造したボトルの赤がドギツク目立つホロ車。「みんないのに乗ってるな」と思いつつ、ひたすらヤダム走らむ。サイクリンゲロードに入ると、自転車に注意を払う必要が全く、どこまでも平らな道を黙々と走る。「気分爽快」

途中、木田急線の橋の下で休憩中、ロマンヌの1がのれおれの上を通過した時、ちがはなつてきた。「なんだ、なんだ」と、議論のま、演説の始末物と判明。液体まということで、がまんしませんが、その後のある人の話によると、「ロマンヌ力

ーでは、液体で固体を流し攪拌しその中に
川の上を通過した時、流すのが、しこのこと、
ということは、さっきのあれは、しかしし
ボクにはふつてこなかったの、気にすること
もありません。

サイクリングロードから出ると当然のこと
百が自動車がヤがましい、昼食をぬ、ア、カ
しまる、湖が見えた。そして湖畔へ湖畔とい
う感じではなかつた。してひと休み。ジ、ンケ
ンで平運にも買けた構口さんと金が買つて
きてくれたアイスクリームを食べてから湖一
周へ。この道が舗装されてはいるがガクガク、
腹はふさふさ、オツリはいたし、まじつた。
帰りは、立川市内を走るころから空が暗く
なり、今にも雨が降りそうだったので、サイ

クリングロードへ、しから、先陣ケル、ワカヘ
し文を上げたのだ。ボクは必死について行く、死
にそう、ソ、まんとす橋の下で息の面が降、てきた
ので、なんと小橋の下で雨宿り。家々で震えてい
る、名取がヤ、ケを借してくれた。ヤ、ケを
さよ、暖かい、一時間しても雨はちよ、ア、ヤ、ヤ、
うにない、堀さんと藤原さんがこの雨の中、買出
しに行、ア、パンツとソーセージを買、てきてく、
た、この行儀が雨降りの神様を動かしたのが、
ンを食べているうちに雨がやんだ。

雨上がりの道を学校目指して走り出す。その時
藤原さんが、あまりとはすな、ソ、ソ、ソ、ソ、ソ、
さよ、索、水しがさささ、ひをすらする。学校
にのいた時は、すやにあまりは暗く、ソ、ソ、
部屋でオシリのいたみを感じ、ソ、ソ、ソ、ソ、ソ、
飲む。